



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月10日

上場会社名 NOK株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7240 URL <http://www.nok.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鶴 正登
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部 部長 (氏名) 大川 義尚 TEL 03-3434-1736
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	383,590	22.2	29,317	14.7	34,325	11.2	23,569	25.9
27年3月期第2四半期	313,951	14.0	25,549	186.7	30,879	112.7	18,727	155.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 6,614百万円 (△82.3%) 27年3月期第2四半期 37,443百万円 (8.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	136.27	—
27年3月期第2四半期	108.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	769,727	462,133	54.8	2,439.64
27年3月期	755,084	462,754	55.9	2,440.93

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 421,977百万円 27年3月期 421,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	35.00	50.00
28年3月期	—	25.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 配当予想の修正については、本日（平成27年11月10日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	787,600	13.5	62,000	△7.6	70,000	△13.3	45,000	△3.9	260.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	173,138,537株	27年3月期	173,138,537株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	171,569株	27年3月期	297,055株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	172,961,868株	27年3月期2Q	172,654,481株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の伸び悩みが見られる一方で、公共投資等の経済対策や設備投資の堅調な推移等により、景気は緩やかな回復基調で推移しました。海外では、米国経済は堅調に推移していますが、中国は景気減速基調が続いております。

自動車業界は、国内では軽自動車増税の影響等による需要減少からの回復の足取りが重く、生産台数は減少しました。海外ではタイをはじめとする東南アジアでの需要の低迷が続いているものの、北米では堅調に推移しました。

電子機器業界は、ハードディスクドライブやタブレット端末、デジタルカメラの需要が減少しましたが、スマートフォンの需要は堅調に推移しました。

事務機業界は、海外でのプリンター、複写機のカラー化の進展に伴い、欧米等での需要は堅調に推移しました。

このような環境の中、当社のセグメント別の業績は以下のとおりです。

シール事業におきましては、自動車向けについては、国内の軽自動車増税の影響等による需要減少からの回復の足取りは重たいものの、北米での需要増、為替の影響等により販売額は増加しました。しかし一般産業機械向けについては、国内の建機等の需要減少、中国の景気減速の影響により、販売は減少しました。

その結果、売上高は1,465億9千4百万円(前年同期比0.2%の増収)となりました。営業利益は、新興国における人件費の増加、および償却費等の増加により142億7千8百万円(前年同期比9.2%の減益)となりました。

電子機器部品事業におきましては、スマートフォン向け、車載向け等の需要が増加したことに加えて、為替の影響もあり販売は増加しました。

その結果、売上高は2,161億6千7百万円(前年同期比47.0%の増収)となりました。営業利益は、販売の増加、原価低減、および為替の影響等により137億4千9百万円(前年同期比68.7%の増益)となりました。

ロール事業におきましては、プリンター、複写機向けの受注減少により販売は減少しました。

その結果、売上高は147億8千2百万円(前年同期比0.3%の減収)となりました。営業利益は、販売の減少に加え、新興国における人件費、経費等の増加により9億1千9百万円(前年同期比25.4%の減益)となりました。

特殊潤滑剤等のその他事業におきましては、売上高は60億4千6百万円(前年同期比4.7%の増収)となりました。営業利益は3億2千8百万円(前年同期比23.7%の減益)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は3,835億9千万円(前年同期比22.2%の増収)、営業利益は293億1千7百万円(前年同期比14.7%の増益)、経常利益は343億2千5百万円(前年同期比11.2%の増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は235億6千9百万円(前年同期比25.9%の増益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、7,697億2千7百万円となり、前連結会計年度末対比で146億4千2百万円の増加となりました。これは主に売上債権、たな卸資産および有形固定資産が増加したことによるものです。

負債合計は3,075億9千3百万円となり、前連結会計年度末対比で152億6千2百万円の増加となりました。これは主に仕入債務が増加したことによるものです。

純資産は、為替相場の変動に伴う為替換算調整勘定の減少、株価の下落に伴うその他有価証券評価差額金勘定の減少、および親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、前連結会計年度末対比で6億2千万円減の4,621億3千3百万円となり、自己資本比率は54.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期業績予想につきましては、見直しを行った結果、売上高、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を前回予想値より上方修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、一部の連結子会社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	102,406	82,910
受取手形及び売掛金	160,388	179,962
たな卸資産	80,621	98,445
その他	19,141	18,536
貸倒引当金	△283	△259
流動資産合計	362,275	379,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	86,130	83,157
機械装置及び運搬具(純額)	85,372	95,600
その他(純額)	48,303	48,419
有形固定資産合計	219,807	227,177
無形固定資産		
のれん	6	—
その他	2,771	2,809
無形固定資産合計	2,777	2,809
投資その他の資産		
投資有価証券	137,447	126,523
その他	32,967	33,793
貸倒引当金	△190	△173
投資その他の資産合計	170,224	160,144
固定資産合計	392,809	390,131
資産合計	755,084	769,727

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	64,332	84,941
短期借入金	55,095	57,417
未払法人税等	8,352	5,398
賞与引当金	8,847	10,651
事業構造改善引当金	669	303
その他	52,050	53,624
流動負債合計	189,349	212,337
固定負債		
長期借入金	24,162	20,709
繰延税金負債	15,219	12,989
環境対策引当金	400	400
退職給付に係る負債	58,711	56,824
その他	4,486	4,332
固定負債合計	102,980	95,255
負債合計	292,330	307,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,335	23,335
資本剰余金	22,716	22,735
利益剰余金	302,571	320,091
自己株式	△374	△214
株主資本合計	348,250	365,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,343	39,354
為替換算調整勘定	34,253	23,682
退職給付に係る調整累計額	△7,952	△7,008
その他の包括利益累計額合計	73,644	56,029
非支配株主持分	40,860	40,156
純資産合計	462,754	462,133
負債純資産合計	755,084	769,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	313,951	383,590
売上原価	250,433	313,324
売上総利益	63,517	70,266
販売費及び一般管理費	37,968	40,948
営業利益	25,549	29,317
営業外収益		
受取配当金	847	1,027
持分法による投資利益	2,568	3,313
為替差益	1,723	328
その他	1,697	1,812
営業外収益合計	6,836	6,481
営業外費用		
支払利息	1,353	1,205
その他	153	267
営業外費用合計	1,506	1,473
経常利益	30,879	34,325
特別利益		
固定資産売却益	126	95
段階取得に係る差益	—	150
その他	61	42
特別利益合計	188	288
特別損失		
固定資産除却損	161	197
製品補償費用	815	—
投資有価証券評価損	123	150
その他	34	261
特別損失合計	1,134	609
税金等調整前四半期純利益	29,933	34,005
法人税等	9,027	8,136
四半期純利益	20,905	25,868
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,178	2,299
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,727	23,569

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	20,905	25,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,545	△7,898
為替換算調整勘定	8,167	△10,964
退職給付に係る調整額	1,214	911
持分法適用会社に対する持分相当額	609	△1,302
その他の包括利益合計	16,537	△19,254
四半期包括利益	37,443	6,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,357	5,954
非支配株主に係る四半期包括利益	3,085	660

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子機器 部品事業	ロール事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	146,315	147,039	14,820	5,775	313,951	—	313,951
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,493	4	—	166	1,663	(1,663)	—
計	147,809	147,043	14,820	5,941	315,615	(1,663)	313,951
セグメント利益	15,725	8,152	1,232	430	25,540	9	25,549

(注) 1. セグメント利益の調整額 9百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子機器 部品事業	ロール事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	146,594	216,167	14,782	6,046	383,590	—	383,590
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,733	4	—	140	1,878	(1,878)	—
計	148,328	216,172	14,782	6,186	385,468	(1,878)	383,590
セグメント利益	14,278	13,749	919	328	29,275	42	29,317

(注) 1. セグメント利益の調整額 42百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。